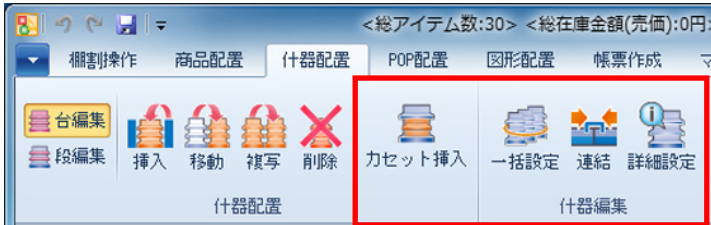


2-1 什器を設置する (細かな什器設定)

概要

〔什器配置〕タブでは什器サイズの変更や、台や棚板の追加、移動など什器の設定に関する機能が集約されています。数値入力で什器サイズの設定や複数の什器をまとめて変更、隣り合う什器で棚板を連結、什器内什器の再現などが可能です。

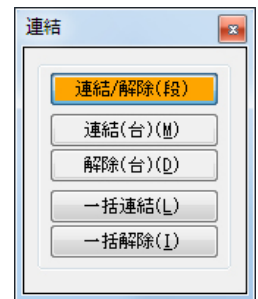
起動方法



操作方法

隣り合う什器の棚板を連結させる

隣り合う台の棚板を連結させて、2台にまたがった位置に商品を陳列することができます。棚板を連結させるためには、隣り合う棚板の高さが同じである必要があります。

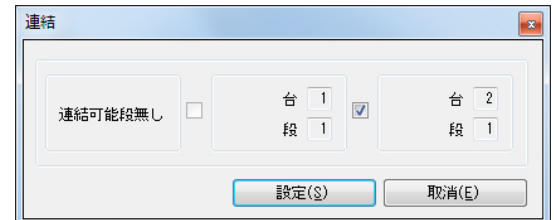


棚板を1段ずつ連結する

1. 〔什器配置〕 - 〔連結〕 をクリックします。
2. 〔連結/解除 (段)〕 を選択し、連結させたい棚板をクリックします。
3. 「連結」画面が表示されます。

連結させたい台と台の間のチェックボックスを有効にして、〔設定〕 をクリックします。連結した部分は黄色に表示されます。

連結を解除する場合は、解除させたい台と台の間のチェックボックスを無効にします。



台ごとに連結する

1. 〔什器配置〕 - 〔連結〕 をクリックします。
2. 〔連結 (台)〕 を選択し、連結させたい台をクリックします。
3. クリックした台と連結可能な棚板がすべて連結されます。
連結を台ごと解除する場合は〔解除 (台)〕 を選択して、解除させたい台をクリックします。

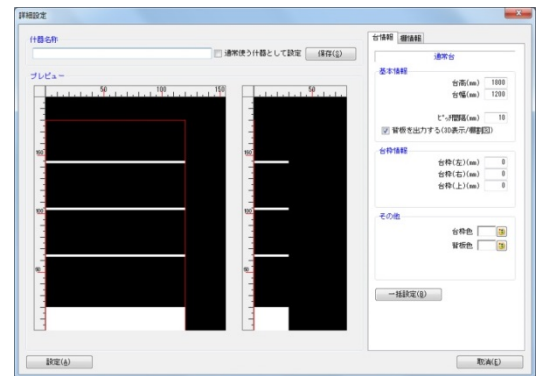
全台まとめて連結する

1. 〔什器配置〕 - 〔連結〕 をクリックします。
2. 〔一括連結〕 をクリックします。
3. 確認メッセージが表示されます。〔はい〕 をクリックします。
4. 設置している全ての台の連結可能な棚板がすべて連結されます。
全ての台の連結をまとめて解除する場合は〔一括解除〕 をクリックします。

什器の細かな設定を行なう

台の幅や棚板の高さなどを数値で設定、定番什器の登録など什器の細かな設定は「詳細設定」画面で行ないます。

「詳細設定」を選択し、設定したい什器をクリックします。



マウスの操作で台幅を調整する

- 「詳細設定」画面左側のプレビューで台の右端にある赤線にマウスカーソルを合わせます。
- マウスカーソルがアイコンの形状（左右の矢印）に変わればクリックして変更したい位置で再度クリックします。
- 「設定」をクリックします。（台高や棚高、棚奥も同様の手順で設定が可能です）

台を調整する

- 「詳細設定」画面右側の「台情報」タブを選択します。
- 台全体のデータが表示されます。修正したい項目を設定します。

| | |
|-------------------|---------------------------------------|
| 台高 | 台の高さを数値で入力して変更します。 |
| 台幅 | 台の幅を数値で入力して変更します。 |
| ピッチ間隔 | 棚を移動する基準値を入力します。 |
| 背板を出力する（3D表示/棚割図） | チェックを入れると3D表示や棚割図を出力する場合に背板を含めて出力します。 |
| 台枠情報 | 台枠がある什器を再現する際に、数値を入力して台枠の厚さを設定します。 |
| 台枠色 | 台枠の色を設定します。色設定ボタンから色の選択が可能です。 |
| 背板色 | 背板の色を設定します。色設定ボタンから色の選択が可能です。 |

- 「設定」をクリックします。

棚の高さを均等にする

- 「詳細設定」画面右側の「台情報」タブを選択します。
- 「一括設定」をクリックします。
- 段間隔均等の「一括設定」をクリックします。
最上段を台高と同じ高さにする場合は「最上段を台高に合わせる」を有効にします。
その他にも棚色や棚厚、棚奥、圧縮率もまとめて設定できます。

棚を調整する

- 「詳細設定」画面右側の「棚情報」タブを選択します。
- 棚に関するデータが表示されます。調整したい段を選択し、修正したい項目を設定します。

| | |
|-------|------------------------------|
| 棚高 | 棚の高さを数値で入力して変更します。 |
| 棚開始位置 | 棚を開始する位置を入力します。 |
| 棚幅 | 棚の幅を数値で入力して変更します。 |
| 棚奥 | 棚の奥行を数値で入力して変更します。 |
| 棚厚 | 棚の厚みを数値で入力して変更します。 |
| 傾斜角度 | 棚の傾斜角度を数値で入力して変更します。 |
| 圧縮率 | どこまで圧縮できるようにするかを設定します。 |
| 棚色 | 棚の色を設定します。色設定ボタンから色の選択が可能です。 |

- 「設定」をクリックします。

定番什器を登録する

- 「詳細設定」画面左上の「什器名称」に定番什器の名称を入力します。
- 「保存」をクリックします。

保存した什器は「什器選択」画面の既存情報から選択できます。

設置している什器の棚色やサイズをまとめて編集する

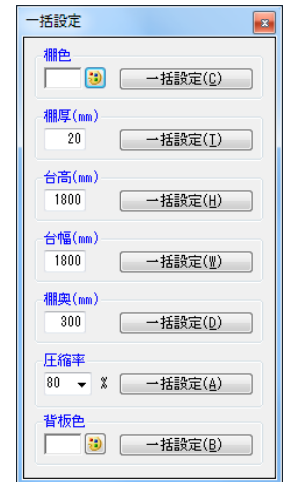
設置している全ての什器をまとめて変更することができます。

全ての台の高さをまとめて変更する

1. [什器配置] - [一括設定] をクリックします。
2. 「一括設定」画面の「台高」に数値を入力します。
3. 「台高」右側の [一括設定] をクリックします。
4. 設置している什器がまとめて変更されます。

全ての台の幅をまとめて変更する

1. [什器配置] - [一括設定] をクリックします。
2. 「一括設定」画面の「台幅」に数値を入力します。
3. 「台幅」右側の [一括設定] をクリックします。
4. 設置している什器がまとめて変更されます

**什器内に什器を設置する**

1. [什器配置] - [カセット挿入] をクリックします。
2. 「基本什器」または「既存情報」から設置したい什器を選択します。
「既存情報」から什器を選択する場合は、あらかじめ設置する什器を登録しておく必要があります。
上記「定番什器を登録する」を参照してください。
3. 棚内の設置したい場所をクリックします。
カセット什器の移動や編集は通常の什器と同じ操作で可能です。

■ 特記事項

- ピッチ間隔が異なる、または棚板の種別が異なる場合は連結できません。
- ひな台、平台、平台（深底）は連結できません。
- 定番什器の登録は [マスターメンテナンス] - [什器情報] - 「メンテナンス」でも可能です。
- 平台、平台（深底）はカセット什器として使用できません。
- 平台、平台（深底）にカセット什器は設置できません。

2-2 ゾーニングを設定する

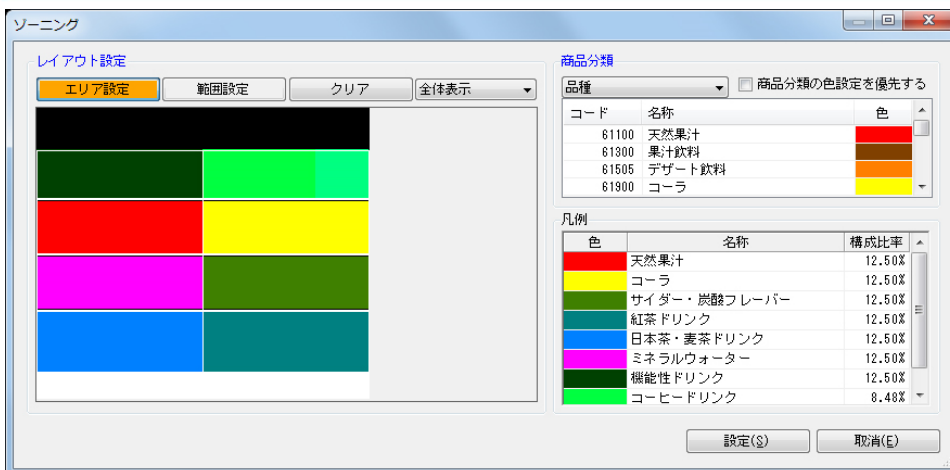
概要

ゾーニングとは、生活者の立場に立ってグルーピングした（括った）商品群を、売場のどの位置に、どれだけのスペースで配置するか、を設定することです。ゾーニングをあらかじめ計画、設定しておくことで、ゾーニングに準じた棚割モデルを作成することができます。

起動方法



操作方法



新規作成する棚割モデルのゾーニングを設定する

1. [棚割操作] - [ゾーニング] をクリックします。
2. 棚のどの位置にどの分類の商品を配置するかの設定を行いません。
右上の商品分類より、陳列したい分類を選択します。
3. ゾーニングウィンドウ内の棚割を直接クリックし、分類ごとのゾーニング範囲を設定します。

| | |
|-------|--|
| エリア設定 | 棚全体を1つの分類で設定します。 |
| 範囲設定 | 棚内でドラッグした範囲を1つの分類で設定します。1段に複数の分類を設定できます。 |

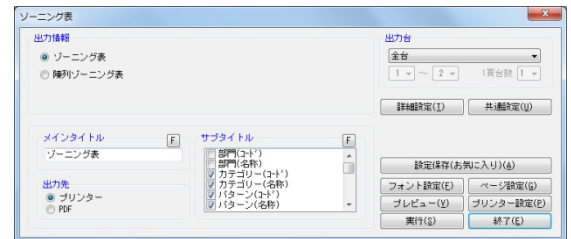
4. [設定] をクリックすると、「ゾーニング」画面が閉じます。

ゾーニングの設定を棚板に反映する

1. [棚割操作] - [オプション] を選択します。
2. 「棚表示色」を「ゾーニング」にして設定します。
3. ゾーニングの設定が棚板に反映されます。

設定したゾーニングを出力する

1. [帳票作成] - [棚割帳票] をクリックします。
2. [基本] タブより「ゾーニング表」を選択します。
3. 「出力情報」にて「ゾーニング表」を選択します。
4. 出力台とタイトル（メイン/サブ）を設定します。
5. 「出力先」から出力の形式を選択して [実行] をクリックします。



商品陳列後にゾーニングを確認する

1. [棚割操作] - [ハイライト] をクリックします。
2. 画面右側に「ハイライト」画面が表示します。
3. ドロップダウンリストより確認したい商品分類を選択して、[反映] をクリックします。

商品陳列後にゾーニングを帳票で確認する

1. [帳票作成] - [棚割帳票] をクリックします。
2. [基本] タブより「ゾーニング表」を選択します。
3. 「出力情報」にて「陳列ゾーニング表」を選択します。
4. 出力台とタイトル（メイン/サブ）を設定します。
5. 「出力先」から出力の形式を選択して [実行] をクリックします。

■ 特記事項

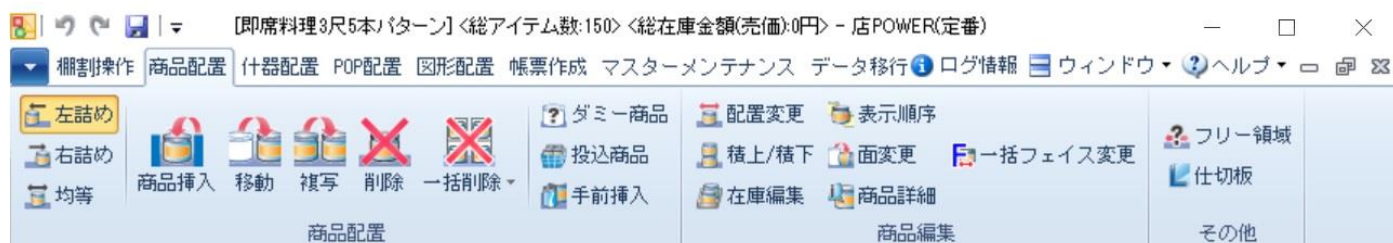
- 平台、平台（深底）はゾーニングの設定が行なえません。
- [什器配置] で台や段を追加、削除などを実施すると、ゾーニングはリセットされます。

2-3 商品を陳列する（特殊な陳列）

概要

〔商品配置〕タブでは、棚に商品の挿入や移動、複写、削除などの他にも、仮の商品の陳列や陳列している商品の配置面を変更、販促物のスペースを確保するなど、様々な陳列方法を再現できる機能が集約されています。

起動方法



操作方法

仮の商品を陳列する

商品情報として登録していない商品を、ダミー商品として棚に陳列することができます。新商品や他社の商品等で、正式な登録を行なうには情報が足りない場合や、マスターとして登録はしないが棚割モデルには陳列しておきたいような場合に活用できます



1. 〔商品配置〕－〔ダミー商品〕をクリックします。
2. ダミー商品を陳列する場所（棚内）でクリックします。
3. 「ダミー商品」画面が表示されます。共通商品コード、商品名、幅、高さを入力します。
4. 〔設定〕をクリックします。

【特記事項】

- ・正式な共通商品コードが分かっている場合は正式なコードを入力しておく、後日その商品がマスターとして商品情報に登録された際に自動的に正式な商品として置き換わります。
- ・正式な共通商品コードが分からない場合、任意のコードを入力、設定してください。
「チェックデジットを正しく設定していません。共通商品コード [*]」と表示された場合は、共通商品コードの末尾を [*] 内の数値に変更して再度設定してください。

前後に別商品を陳列する

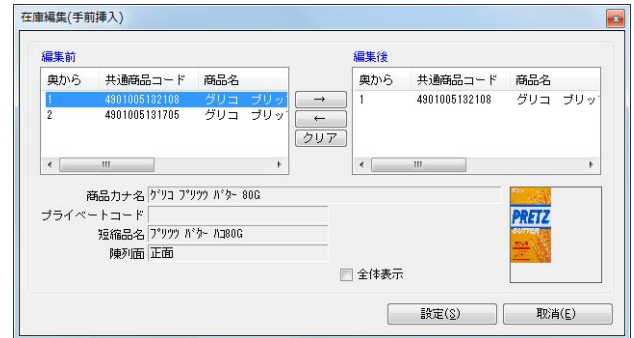
共通商品コードの異なる色違いの商品などを同列に前後して陳列することができます。棚に陳列している商品の手前に、商品リストから、またはすでに棚に陳列している別商品を複写、移動して陳列可能です。



1. 〔商品配置〕－〔手前挿入〕をクリックします。
2. 商品リストより手前に陳列したい商品を選択します。
3. 「手前挿入」画面が表示されます。〔挿入〕を選択します。
4. 棚内の商品の上でクリックします。
奥の商品より、幅の大きな商品は手前に陳列できません。
〔複写〕〔移動〕はすでに棚内に陳列している商品の複写／移動、〔変更〕はすでに陳列している商品の位置を変更します。

手前に挿入した商品を削除する

1. [商品配置] - [手前挿入] をクリックします。
2. 「手前挿入」画面から [変更] を選択します。
3. 削除したい商品の上でクリックします。
4. 「在庫編集 (手前挿入)」画面が表示されます。
5. 棚に残したい商品のみ、左「編集前」より選択して [→] をクリックし、右「編集後」に移動します。
6. [設定] をクリックします。
前後の商品の順番を入れ換える場合は、手順5で選択する順番を変更します。

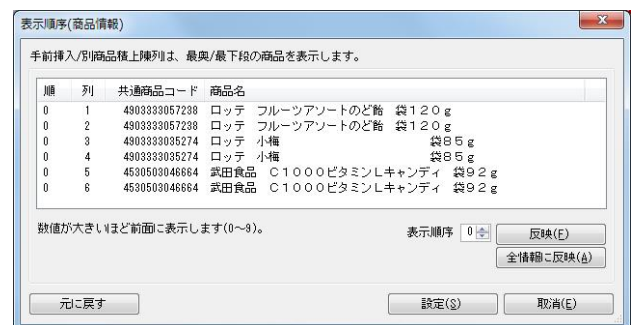


陳列商品の順序を変更する

重なり合う陳列商品の順序を変更できます。フック陳列やダブルフック陳列などで商品が左右に重なっている場合、どの商品を手前（または奥）に表示するかを設定できます。また、ひな台作成時、商品が上下に重なる場合、どの段の商品を手前（または奥）に表示するかの設定も可能です。

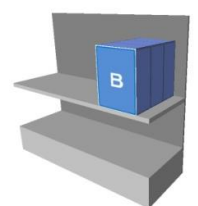


1. [商品配置] - [表示順序] をクリックします。
2. 表示順序を変更したい商品が陳列されている棚をクリックします。
3. 「表示順序 (商品情報)」画面が表示されます。
4. 前面に表示したい商品を一覧より選択します。
右下「表示順序」で数値を「1」以上に変更すると、「順」列の数値が変更されます。
初期値は「0」であり、数値が大きいほど前面に表示されます。
5. [反映] をクリックします。
選択した棚内に陳列しているすべての商品に反映する場合は [全情報に反映] をクリックします。
6. [設定] をクリックします。



在庫を編集する

店POWERでは、棚に陳列している在庫のみを対象にした「陳列在庫」と、バックヤードなどの棚に陳列していない在庫も含めた「実在庫」を別々に管理しています。
それぞれ帳票への出力や、回転率の算出などに利用することができます。
「陳列在庫」は、商品のフェイス数、積上数、サイズ（商品／什器）を基に最大陳列可能数が自動計算され、初期値として反映されます。「実在庫」は、棚割の陳列の状態に影響されないため初期値は「0」です。



陳列商品の在庫数を单品ごとに編集する

1. [商品配置] - [在庫編集] をクリックします。
2. 「在庫編集」画面が表示されます。[アイテム単位] を選択します。
陳列商品ごと（フェイスごと）に在庫を編集したい場合は [フェイス単位] をクリックします。
3. 在庫を編集したい商品をクリックします。
4. 「在庫編集 (アイテム単位)」画面が表示されます。陳列在庫数量を入力、またはバーを移動して設定することもできます。

【特記事項】

- ・商品陳列後に什器の奥行サイズを縮める場合は自動で陳列在庫数が減少しますが、什器の奥行サイズを伸ばした場合は、陳列在庫数は自動では増加しません。変更する必要がある場合は、手動で陳列在庫数を変更してください。
- ・実在庫数は棚割の陳列の影響を受けないため、登録・変更する場合は、毎回手動で行なってください。

全商品の在庫数を一括で編集する

1. [商品配置] - [在庫編集] をクリックします。
2. 「在庫編集」画面が表示されます。[一括設定] を選択します。
3. 「一括設定」画面で、陳列商品の一覧が表示されます。
4. 在庫を編集したい商品に対して、陳列在庫を入力します。
5. [設定] をクリックします。

その他の機能として、全商品を最大または最小陳列在庫にする場合は [陳列最大在庫] / [陳列最小在庫]、全商品をボールまたはケース入数にする場合は [入数 (ボール)] / [入数 (ケース)] をクリックします。また、表示設定にある「台/段/列」や「フェイス数」を有効にすると一括設定画面にデータを反映させることが可能です。

在庫状況をファイルに出力する

1. [商品配置] - [在庫編集] をクリックします。
2. 「在庫編集」画面が表示されます。[一括設定] をクリックします。
3. [ファイル出力] をクリックします。
4. 「名前を付けて保存」画面で、任意の場所にファイル名を付けて保存します。保存したファイルを編集し、[ファイル読込] から反映させることもできます。

商品の陳列面を変更する

陳列している商品の配置面を変更できます。

陳列前に配置面をあらかじめ変更したい場合は、商品リスト右上の画像表示欄、またはドロップダウンリストから陳列面を変更してください。



陳列面を変更する

1. [商品配置] - [面変更] をクリックします。
2. [単品指定] を選択して、面を変更したい商品をクリックします。
3. 「単品指定」画面が表示されます。変更したい面を選択します。
4. [設定] をクリックします。

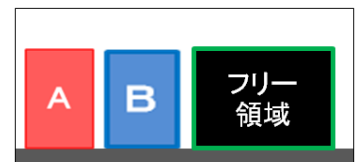
選択した範囲内の商品の陳列面をまとめて変更する

1. [商品配置] - [面変更] をクリックします。
2. [範囲指定] を選択して、面変更のドロップダウンリストより、変更したい面を選択します。指定した棚内の商品の陳列面をまとめて変更する場合は [棚指定] を選択してください。
3. 陳列面を変更したい商品を範囲選択 (ドラッグ) します。

商品を陳列しないスペースを設定する

棚に広告用のモニターや販促物などを置く、商品を陳列しないスペースを確保できます。

設定したフリー領域は商品と同じように移動、複写、削除で編集が可能です。



1. [商品配置] - [フリー領域] をクリックします。
2. 棚内のスペースを確保したい場所でクリックします。
3. 「フリー領域」画面が表示されます。名称、幅、高さを入力します。
4. [設定] をクリックします。

棚に仕切板を設置する

商品と商品の間仕切板を設置することができます。

設置した仕切板は商品と同じように移動、複写、削除で編集が可能です。



指定した場所に設置する

1. [商品配置] - [仕切板] をクリックします。
2. [挿入] を選択して、設置したい場所でクリックします。
削除したい場合は [削除] を選択して、削除したい仕切板をクリックします。



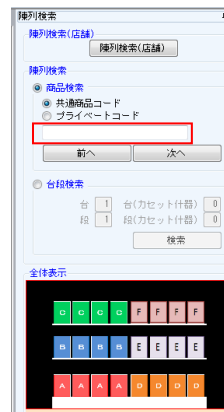
指定した棚にまとめて設置する

1. [商品配置] - [仕切板] をクリックします。
2. 挿入単位を選択します。

| | |
|--------|-----------------|
| フェイス単位 | 1 フェイスごとに仕切板を設置 |
| アイテム単位 | アイテムごとに仕切板を設置 |
3. [挿入 (棚)] を選択して、設置したい棚をクリックします。
全ての台に一括で設置する場合は [挿入 (全台)] を選択します。

指定した商品が棚割モデル内のどこに陳列されているかを検索する

1. [棚割操作] - [開く] から対象の棚割モデルを選択します。
2. [棚割操作] - [陳列検索] をクリックします。または画面右側の [陳列検索] タブを選択します。
3. 検索するコードの種類を「共通商品コード」もしくは「プライベートコード」から選択します。
4. テキストボックスに上記3で選択した、対象商品のコードを入力します。
5. [前へ] もしくは [次へ] をクリックします。
(Enter キーを押下することで [次へ] と同じ動きをすることができます)
6. 対象商品が点滅している破線で囲まれます。
検索した商品が陳列されていない場合は、「指定商品は陳列していません」とメッセージが表示されます。



他の売場に陳列されているかを検索する

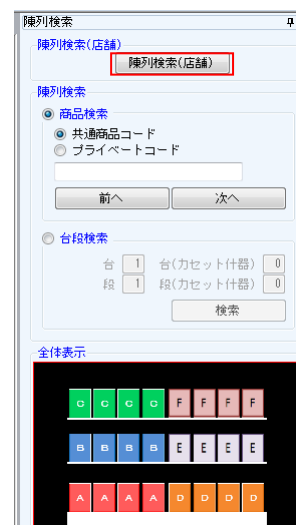
1. [棚割操作] - [開く] から対象の棚割モデルを選択します。
2. [棚割操作] - [陳列検索] をクリックします。または画面右側の [陳列検索] タブを選択します。
3. [陳列検索 (店舗)] を選択します。
4. 検索画面で出力対象となる部門、カテゴリー、店舗を選択します。
5. どの時点での陳列を確認するかを棚割変更日で設定します。
(※検索時、棚割変更日の横にあるヘルプボタンより日付設定の詳細を確認できます。)

| | |
|----------|--------------------------------|
| 現状 | 本日日付以前（本日日付を含む）で過去直近の情報を対象にします |
| 入力日の直近過去 | 入力日付以前（入力日付を含む）の過去直近の情報を対象にします |
| 入力日の直近未来 | 入力日付以降（入力日付を含む）の直近未来の情報を対象にします |
| 範囲指定 | 設定範囲内の情報を対象にします |

6. 検索条件で「コード検索」に設定します。
7. コード検索の設定箇所コードの種類を設定します。
8. コードを入力します。


| | |
|---------|-------------------------------------|
| 棚割モデル読込 | 作成した棚割モデルを選択して、陳列されている商品を読み込みます。 |
| ファイル読込 | Excel や CSV ファイルに入力されているコードを読み込みます。 |
9. 出力項目 (基本) を設定します。
選択可能項目より出力したい項目を選択して [追加] をクリックします。
(もしくは出力したい項目をダブルクリックします)

10. 出力先から出力時の形式を選択します。
11. [実行] をクリックします。



棚に陳列されている商品を一覧で確認する

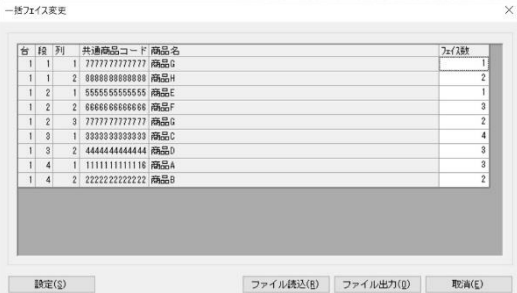
1. [棚割操作] - [陳列商品一覧] をクリックします。
2. [詳細設定] より一覧に表示する項目を選択して設定します。
3. フェイスング画面を表示している状態で陳列商品の一覧が確認できます。



| 台/段/列 | 共通商品コード | 商品名 | フェイス数 | 積上 | 陳列在庫数量 |
|---------|------------------|-----|-------|----|--------|
| 1/ 1/ 1 | 1111111111111111 | 商品A | 1 | 1 | 3 |
| 1/ 2/ 1 | 1111111111111112 | 商品B | 1 | 1 | 3 |
| 1/ 3/ 1 | 1111111111111113 | 商品C | 1 | 1 | 3 |
| 2/ 1/ 1 | 1111111111111114 | 商品D | 1 | 1 | 3 |
| 2/ 2/ 1 | 1111111111111115 | 商品E | 1 | 1 | 3 |
| 2/ 3/ 1 | 1111111111111116 | 商品F | 1 | 1 | 3 |

棚に既に陳列されている商品のフェイス数を一括で変更する

1. [商品配置] - [一括フェイス変更] を選択します。
2. 一覧に表示する各商品のフェイス数を変更し、[設定] をクリックします。
3. 入力したフェイス数で商品が陳列されます。



| 台 | 段 | 列 | 共通商品コード | 商品名 | フェイス数 |
|---|---|---|----------------|-----|-------|
| 1 | 1 | 1 | 77777777777777 | 商品G | 1 |
| 1 | 1 | 2 | 88888888888888 | 商品H | 2 |
| 1 | 2 | 1 | 55555555555555 | 商品E | 1 |
| 1 | 2 | 2 | 66666666666666 | 商品F | 3 |
| 1 | 2 | 3 | 77777777777777 | 商品G | 2 |
| 1 | 3 | 1 | 33333333333333 | 商品C | 4 |
| 1 | 3 | 2 | 44444444444444 | 商品D | 3 |
| 1 | 4 | 1 | 11111111111111 | 商品A | 3 |
| 1 | 4 | 2 | 22222222222222 | 商品B | 2 |

特記事項

- ダミー商品、仕切板は圧縮できません。
- ダミー商品、フリー領域、投込商品は手前挿入できません。
- 平台では手前挿入できません。
- 積上、手前挿入している商品は面変更できません。
- 棚に残り幅がない場合は仕切板を設置できません。

2-4 POPを設置する（基本操作）

概要

〔POP 配置〕タブではPOPの挿入や移動、複写、削除が可能です。また、POPを商品の前に配置するか、後ろに配置するかを設定することができます。

起動方法



操作方法

POP リスト

POP リストから貼り付けるPOPを選択します。

（POPの登録方法は「1-2 POPの登録」を参照してください。）

〔絞込検索〕タブ

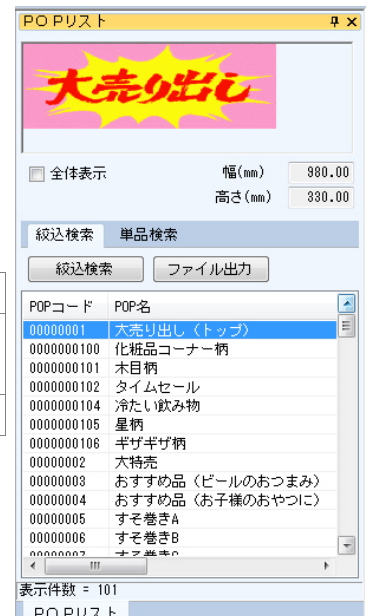
〔絞込検索〕をクリックし、各機能で呼び出した後、〔実行〕をクリックすると、

POPリストに一覧が表示します。

| | |
|--------|--|
| 〔全情報〕 | 登録している全POPを対象にします |
| 〔個別設定〕 | POPコードを指定します。〔棚割モデル読込〕から棚割モデルを選択し、貼り付けられているPOPを対象にすることもできます。 |
| 〔文字検索〕 | POP名、POPコードで検索します。 |

〔単品検索〕タブ

POPコードを入力、もしくはスピンドットをクリックしてPOPを呼び出すことができます。



POPの挿入ルール

POPを貼り付ける際、商品の手前に貼るか、後ろに貼るかを指定します。



〔後〕商品より後ろへ



〔前〕商品より前へ

POPを棚に貼り付ける

1. POPリストから貼り付けたいPOPを選択します。
2. 貼り付けたい場所でクリックします。

POPを移動する

1. 〔移動〕をクリックします。
2. 移動したいPOPを選択します。
複数のPOPをまとめて選択する場合は、範囲選択（ドラッグ）します。
3. 移動させたい位置でクリックします。

POP を複写する

1. [複写] をクリックします。
2. 複写したいPOP を選択します。
3. 複数のPOP をまとめて選択する場合は、範囲選択 (ドラッグ) します。
4. 複写させたい位置でクリックします。

POP を削除する

1. [削除] をクリックします。
2. 削除したいPOP をクリックします。
複数のPOP をまとめて選択する場合は、範囲選択 (ドラッグ) します。

POP の貼り付け順を変更する

1. [表示順序] をクリックします。
2. 一覧より表示位置を変更したいPOP をクリックします。
3. 表示位置から「前」または「後」を選択します。
重なり合うPOP の表示順序を変更したい場合は表示順序にて数値を入力します。「0」が一番後ろ、数値が大きくなるほど手前に表示します。
4. [反映] をクリックします。
全てのPOP に変更内容を反映させたい場合は [全情報に反映] をクリックします。
5. [設定] をクリックします。

■ 特記事項

- 平台にPOP を配置する場合は側面への貼り付けとなるため、横から見た状態になります。

2-4 POPを設置する (特殊なPOPの再現)

概要

[POP 配置] タブではPOP を棚に挿入や移動、複写、削除などの他にも、什器に貼り付けて模様とする、のぼりを再現するなど、様々な機能が集約されています。

起動方法



操作方法

什器から突き出したPOP (のぼり) を貼り付ける

棚に平面的に貼り付けるのではなく、正面に飛び出すように貼り付けることも可能です。

1. [突出し貼付] をクリックします。
2. POP リストから、貼り付けたいPOP を選択します。
3. 棚の貼り付けたい位置でクリックします。
表示上は平面ですが、POP の左の赤い線を起点として、突き出した形で貼り付きます。「3D 表示」で確認できます。

什器に模様をつける

1. 模様として使用したいPOP を POP リストから選択します。
2. [パネル貼付] (連続模様) もしくは [ズーム貼付] (拡大模様) をクリックします。

| | |
|-------|-----------------------------|
| パネル貼付 | POP を選択した什器全面に連続して貼り付けます。 |
| ズーム貼付 | POP を選択した什器全面に引き伸ばして貼り付けます。 |

3. 棚の貼り付けたい位置でクリックします。

2-5 棚割作成時のオプション設定を変更する

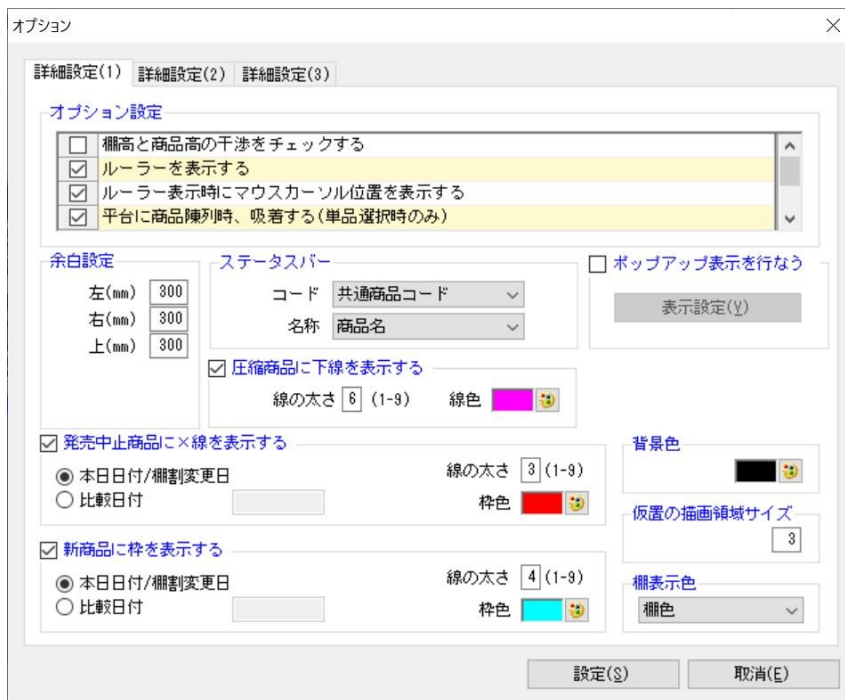
概要

棚割作成時の様々な設定を行なうことができます。
設定した内容は、別の棚割モデルを選択、表示した場合にも反映します。

起動方法



操作方法



棚割操作画面の表示に関する設定を変更する

棚割モデルを選択する必要があります。

[棚割操作] - [開く] から該当の棚割モデルを選択し、棚割モデル表示後、[棚割操作] - [オプション] をクリックします。
変更後は [設定] をクリックします。

上段を超えて商品を陳列できるようにする

[詳細設定 (1)] - 「オプション設定」内の「棚高と商品高の干渉をチェックする」を無効にします。

ルーターを表示する

[詳細設定 (1)] - 「オプション設定」内の「ルーターを表示する」を有効にします。

「ルーター表示時にマウスカーソル位置を表示する」を有効にすると、マウスのある位置がルーターに青色線で表示されます。

平台作成時の設定

〔詳細設定（1）〕－「平台に商品陳列時、吸着する（単品選択時のみ）」を有効にすると、商品挿入、複写、移動で単品選択時、陳列済み商品と選択商品が近づいた時に吸着させます。

また、〔詳細設定（1）〕－「平台の重なりを許可する」を有効にすると、商品を重ねて陳列することができます。

棚割モデル周囲の余白の設定

〔詳細設定（1）〕－「余白設定」から左・右・上余白の設定が可能です。

発売中止商品に×線を表示する

〔詳細設定（1）〕－「発売中止商品に×線を表示する」を有効にします。

上記機能を使用するためには商品情報の発売中止日に日付を登録している必要があります。

| | |
|--------------|---|
| 本日日付 / 棚割変更日 | 本日日付と比較する場合に選択します。（パソコンのシステム日付） 実施モデルの場合は棚割変更日を基準にして判断します。 |
| 比較日付 | 指定日付と比較する場合に選択します。（入力形式：YYYYMMDD） |

線の太さや色も設定できます。

新商品に枠を表示する

〔詳細設定（1）〕－「新商品に枠を表示する」を有効にします。

上記機能を使用するためには商品情報の発売開始日に日付を登録している必要があります。

| | |
|--------------|---|
| 本日日付 / 棚割変更日 | 本日日付と比較する場合に選択します。（パソコンのシステム日付） 実施モデルの場合は棚割変更日を基準にして判断します。 |
| 比較日付 | 指定日付と比較する場合に選択します。（入力形式：YYYYMMDD） |

線の太さや色も設定できます。

ステータスバーに表示する項目の設定

〔詳細設定（1）〕－「表示設定（ステータスバー）」から、コードと名称を選択します。

コードは「共通商品コード」または「プライベートコード」を選択できます。

名称は「商品名」「商品カナ名」「短縮品名」から選択できます。

「ポップアップ表示を行なう」を有効にすれば、陳列商品にマウスカーソルを合わせた際、上記で選択したコード、名称をポップアップ表示します。

棚割操作時の背景色を変更する

〔詳細設定（1）〕－「背景色」の色設定ボタンから、任意の色に変更できます。

仮置情報に表示できる商品数を増やす

〔詳細設定（1）〕－「仮置の描画領域サイズ」から設定できます。

仮置情報の内部描画領域サイズを設定できます。描画領域が少ないと仮置情報の商品陳列上限の1000商品以内であっても、商品が表示されない場合があります。初期値は「3」となっており、「3～30」までの間で設定可能です。

ただし、あまり大きな数値を設定するとメモリ不足を起こす可能性があるのでご注意ください。

棚の表示色を変更する

〔詳細設定（1）〕－「棚表示色」から任意の項目を設定します。

| | |
|-------|---|
| 棚色 | 設定した棚色を表示します。 |
| ゾーニング | 〔棚割操作〕－〔ゾーニング〕で設定した色を表示します。 |
| 圧縮 | 圧縮されている商品が陳列されている棚が赤色に表示します。 |
| 棚毎圧縮 | 棚毎の圧縮率に応じて、棚色が表示します。 圧縮率：50-59%＝赤、60-69%＝橙、70-79%＝黄、80-89%＝黄緑、 90-99%＝空色、100%＝青 |

〔詳細設定 (2) 〕ではダミー商品、フリー領域のフォントや文字色、枠色の設定や在庫金額の算出基準の変更、タブの表示方法などの設定が可能です。

棚割編集画面上に、売上情報を表示する

〔詳細設定 (2) 〕 - 「売上情報」を有効にします。

表示させる売上情報 (売上数量, 売上金額, 粗利益) を選択し、それぞれの単位を指定します。

棚割編集画面内で、商品上に売上情報を表示します。

タイトルバーに表示する項目を設定する

〔詳細設定 (3) 〕では棚割モデルを開いた時にタイトルバーに何を表示させるかの項目を設定します。

実施モデルや提案モデル、外部棚割モデルを開いた時と店舗棚割を開いた時とで表示させる項目を分けて設定できます。

選択可能項目より表示させたい項目を選択して [追加] をクリックすると表示項目に追加されます。

また、表示項目から表示させたくない項目を選択して [削除] をクリックすると一覧から削除されます。

(各項目をダブルクリックしても同様の作業が可能です)

圧縮陳列した商品の下に下線を表示する

〔詳細設定 (1) 〕 - 「圧縮商品に下線を表示する」を有効にします。

棚割編集画面内で、圧縮陳列されている商品があれば下線を表示します。

未発売や発売中止商品をチェックする

〔詳細設定 (1) 〕 - 「オプション設定」内の「フェイシング終了時に未発売/発売中止商品をチェックする」を有効にします。

実施モデルとして保存する場合には、未発売や発売中止商品がないかをチェックして、存在すれば保存を実行して問題ないかの確認メッセージが表示されるようになります。

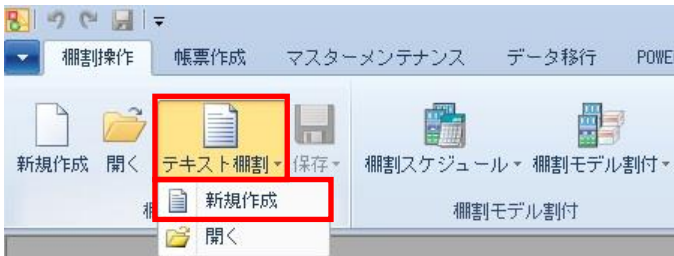
2-6 テキストから棚割を作成する (新規作成)

概要

どの位置に何の商品が陳列されているかをテキスト入力して棚割モデルを作成することができます。

1商品ずつテキスト入力しての作成やExcelファイルに入力されているテキスト情報を読み込んでの作成が可能です。

起動方法



操作方法



テキスト棚割を新規作成する

1. [棚割操作] - [テキスト棚割] - 「新規作成」をクリックします。
2. 各行に陳列データを入力します。入力できる行は[詳細設定]の設定によって異なります。

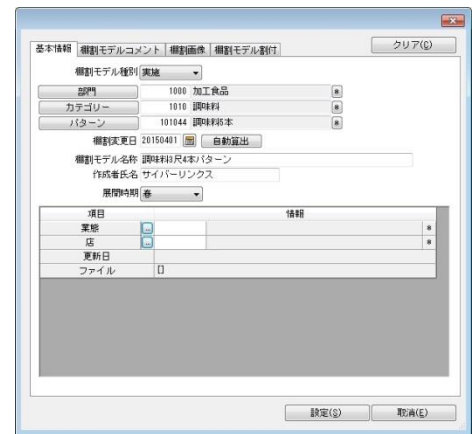
| | |
|-------|--------------------------------------|
| [追加] | 行を追加します。 |
| [挿入] | 選択している行の上に新たに行を挿入します。 |
| [削除] | 「削除」のチェックボックスが有効になっている行を削除します。 |
| [ソート] | 行を並び替えます。台、段、共通商品コードを入力していない行は削除します。 |

Excelファイルからテキスト棚割を作成する

1. [棚割操作] - [テキスト棚割] - 「新規作成」をクリックします。
2. [エクスポート] をクリックし、任意の場所にExcel または GSV ファイルを保存します。
3. Excel ファイルに「テキスト棚割」画面の内容が記載されているため、Excel ファイル内に陳列データを入力し、保存します。
4. [インポート] をクリックし、3で保存したExcel ファイルを指定します。
5. Excel ファイルの編集内容が「テキスト棚割」画面に反映されます。

テキスト棚割を実施モデルとして保存する

1. [棚割操作] - [保存] - [名前を付けて保存] を選択します。
2. 「基本情報」画面が表示します。
3. 「棚割モデル種別」から「実施」を選択します。
4. [カテゴリー]、[パターン] を指定します。(必須)
5. 「棚割変更日」を指定します。(必須)
[自動算出] をクリックすると、環境設定の設定内容を基に自動で日付が入力されます。
([?]ボタンより POWERSCREEN への連携日程を確認することも可能です)
6. [保存] をクリックします。



POWERSCREEN への連携日程を確認する

棚割変更日 20210305 [?] 自動算出 [?]

[?]ボタンを選択すると POWERSCREEN 連携日程を確認できます。

POWERSCREEN 連携日程の画面では、本日日付を起点 (出力日付) とした場合の出力対象期間が表示されます。

出力対象期間に棚割変更日が含まれる場合には POWERSCREEN へ出力されるため、保存する棚割がいつ POWERSCREEN に公開されるかを確認する際にご活用ください。
(出力対象期間の設定は [POWERSCREEN] タブ [自動出力設定] にて設定されています)



テキスト棚割を提案モデルとして保存する

1. [棚割操作] - [保存] - [名前を付けて保存] を選択します。
2. 「基本情報」画面が表示します。
3. 「棚割モデル種別」から「提案」を選択します。
4. [部門] や [カテゴリー]、[パターン]、作成日付、棚割モデル名称など必要に応じて指定します。
必須項目はありません。
5. [保存] をクリックします。

特記事項

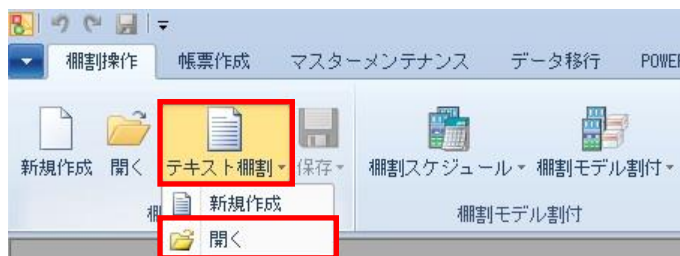
- [詳細設定] では陳列データの作成に使用する項目や設定コードの種類、段の算出方法を設定できます。
- [表示設定] では表示する商品情報項目を設定できます。
- Excel ファイルからテキスト棚割を作成するために [エクスポート] を実行すると表示設定で設定した表示項目も出力されます。表示項目は商品情報の登録内容を反映しているだけになるため、出力された表示項目にデータを入力してインポートしても反映されません。
- テキスト棚割を作成する場合は棚割モデルを閉じている必要があります。
- 環境設定で基幹整合性チェックを「チェックする」にしている場合、基幹システムと連携されていない商品が存在すると共通商品コードの背景が赤色になります。
- 棚割変更日の[?]ボタンは POWERSCREEN との連携がある場合のみ表示されます。
- 環境設定で発売中止もしくは終売商品の陳列をできないように制限することができます。
制限している場合、それらの商品が陳列されている状態で実施モデルを保存しようとするとエラーが表示されます。
[表示設定] より表示項目に [発売中止日] や [終売区分] を含めることで該当商品を特定できます。
- 台や段の増減がある場合、「台数や段数の増加に伴い什器情報が崩れます。続行しますか?」のメッセージが表示されます。

2-6 テキストから棚割を作成する（既存の棚割モデルをテキスト棚割で開く）

概要

既存の棚割モデルをテキスト棚割として開き、陳列内容の確認・編集が可能です。
棚割モデルの陳列情報をテキスト形式で表示させて取扱商品を把握したい場合などに活用できます。

起動方法



操作方法

実施モデルを開く

1. 「棚割操作」－「開く」をクリックします。
2. 「実施」タブを選択します。
3. 「部門」または「カテゴリー」を指定します。（必須）
検索条件をより細かく指定したい場合は「パターン」や「詳細設定」で絞り込みます。
4. 「棚割世代」を選択します。

| | |
|------|------------------------------------|
| 現状棚割 | 現時点で採用されている棚割モデル（棚割変更日が直近過去の棚割モデル） |
| 未来棚割 | 次回以降に予定している棚割モデル（棚割変更日が未来日付の棚割モデル） |
| 過去棚割 | 以前に採用していた棚割モデル（現状棚割以前の過去の棚割モデル） |

5. 「検索」をクリックします。
6. 一覧内から棚割モデルを選択し、「選択」をクリックします。

提案モデルを開く

1. 「棚割操作」－「開く」をクリックします。
2. 「提案」タブを選択します。
3. 「部門」や「カテゴリー」、「パターン」、作成日付、「詳細設定」など必要に応じて検索条件を指定します。
4. 「検索」をクリックします。
5. 一覧内から棚割モデルを選択し、「選択」をクリックします。

店舗モデルを開く

1. 「棚割操作」－「開く」をクリックします。
2. 「店舗」タブを選択します。
3. 「店舗」を指定します。（必須）
「部門」や「カテゴリー」を検索条件として必要に応じて指定します。
4. 「棚割世代」を選択します。
5. 「検索」をクリックします。
6. 一覧内から棚割モデルを選択し、「選択」をクリックします。

外部棚割モデルを開く

1. [棚割操作] - [開く] をクリックします。
2. [外部棚割モデル] タブを選択します。
3. 「フォルダーの設定」右横のフォルダーアイコンをクリックして、棚割モデルの保存場所を指定します。
4. 「ファイル形式」で棚割モデルのファイルの種類を選択します。

| | |
|-----------------------|---|
| 外部棚割モデル [* .MPW] | 店POWER独自の棚割モデル形式 |
| 外部棚割モデル [* .TPW] | 棚POWER独自の棚割モデル形式 |
| 棚割互換形式 [* .CSV] | 棚割配置情報 (PTS) よりも再現性が高く、他社棚割ソフトと互換性のある新規格の形式 |
| 棚割配置情報 (PTS) [* .CSV] | 他社棚割ソフトと互換性のある共通フォーマット形式 |
| 外部棚割モデル (旧) [* .MDL] | 旧店POWER独自の棚割モデル形式 |
| 全ての外部モデル | 上記全てのファイル形式を対象にします |

5. [検索] をクリックします。
6. 一覧内から棚割モデルを選択し、[選択] をクリックします。

特記事項

- 手前挿入や別商品積上、カセット仕器を設置している場合、テキスト棚割を使用できません。
- 投込商品を陳列している場合、通常商品に変換します。
- テキスト棚割では複数の棚割モデルを同時に開くことはできません。
- テキスト棚割以外で作成した棚割モデルを開くと「テキスト棚割以外で作成したモデルです。テキスト棚割で保存すると仕器情報が崩れます。テキスト棚割を実行しますか？」の確認画面が表示されます。
- 環境設定で基幹整合性チェックを「チェックする」にしている場合、基幹システムと連携されていない商品が存在すると共通商品コードの背景が赤色になります。
- 既存の棚割モデルをテキスト棚割で開いて保存する際、編集前の棚割と比較して仕器の台数や段数が増えていない場合には、編集前の仕器情報を引き継ぎます。(台数や段数が増えている場合には仕器情報をリセットして作成されます)

2-7 自動でフェイス数を調整する

概要

作成した棚割モデルの什器の台数や台幅の変更に応じて、陳列商品のフェイス数を自動で調整することができます。商品分類単位やアイテム単位での構成比を維持してフェイス数を自動で調整するため、什器台数が異なるパターンを簡単に作成できます。また、売上情報を使用することができ、売上情報を使用した場合には陳列構成比を売上構成比に近づけるようにしてフェイス数を調整します。

起動方法



操作方法

什器の設定

台数を変更する場合

1. [棚割操作] - [フェイス調整] をクリックします。
2. フェイス調整の設定画面で [什器台数変更] を選択します。
3. 変更欄に台数を入力します。

台幅を変更する場合

1. [棚割操作] - [フェイス調整] をクリックします。
2. フェイス調整の設定画面で [什器幅変更] を選択します。
3. 変更欄に台幅のサイズを入力します。

条件を設定する

1. 什器の設定後に設定画面内の [フェイス調整] を選択します。
2. 条件設定を行ない [実行] をクリックします。

商品分類の構成比を維持する

商品分類単位(メーカー/品種)で商品进行分类わけして、商品分類ごとの陳列構成比を維持させてフェイス数の増減を行ないます。

| | |
|------|------------------------------|
| 商品分類 | 商品进行分类わけする時の基準となる分類項目を選択します。 |
| 構成比 | 陳列構成比の算出する際の陳列項目を選択します。 |

価格帯の構成比を維持する

価格帯別に商品进行分类わけして、価格帯ごとの陳列構成比を維持させてフェイス数の増減を行ないます。

| | |
|------|---|
| 価格項目 | 価格帯別に分類わけする時の基準となる価格項目を選択します。 |
| 構成比 | 陳列構成比の算出する際の陳列項目を選択します。 |
| 価格帯 | 価格帯の範囲設定を行ないます (簡易設定で初期値と価格ラインを設定しての一括登録も可能です)。 |

アイテムの構成比を維持する

アイテムごとの陳列構成比を維持させてフェイス数の増減を行ないます。

| | |
|-----|-------------------------|
| 構成比 | 陳列構成比の算出する際の陳列項目を選択します。 |
|-----|-------------------------|

できるだけ商品分類/価格帯の数を維持する

フェイスを減らす商品分類(価格帯)に属する商品が1アイテムだった場合に、その商品分類に属する商品をカットせずに別の商品分類(価格帯)に属する商品のフェイス数を減らします。

できるだけアイテム数を維持する

フェイスを減らす商品が1フェイスしか陳列されていない場合に、その商品をカットせずに別の商品のフェイス数を減らしてアイテム数を維持させます。

◆ 「商品分類の構成比を維持する」で実行した場合

3尺から5尺に変更



[条件]

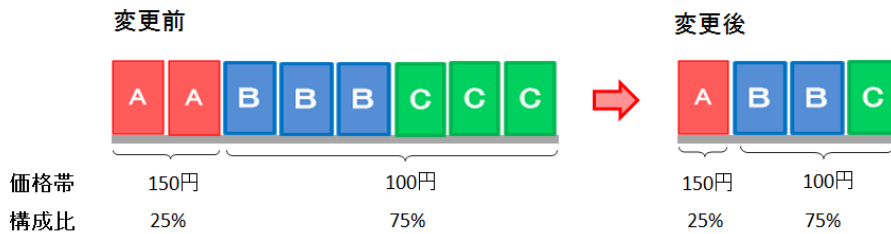
3尺から5尺に什器幅を変更する設定を行ない、商品分類は「品種」、構成比は「フェイス構成」という条件でフェイス調整を実行します。

[結果]

5尺になるに従ってフェイス数は変更されますが品種ごとのフェイス構成比は維持されます。

◆ 「価格帯の構成比を維持する」で実行した場合

5尺から3尺に変更



[条件]

5尺から3尺に什器幅を変更する設定を行ない、価格項目は「売価」、構成比は「フェイス構成」という条件でフェイス調整を実行します。

[結果]

3尺になるに従ってフェイス数は変更されますが価格帯ごとのフェイス構成比は維持されます。

◆ 「アイテムの構成比を維持する」で実行した場合

3尺から5尺に変更



[条件]

3尺から5尺に什器幅を変更する設定を行ない、構成比は「フェイス構成」という条件でフェイス調整を実行します。

[結果]

5尺になるに従ってフェイス数は変更されますがアイテムごとのフェイス構成比は維持されます。

売上情報を使用してフェイス調整を実行する

売上情報を使用すると陳列構成比を売上構成比に近づけるようにフェイス数が調整されるため、陳列構成比のバランスを整えることができます。

什器の設定**台数を変更する場合**

1. [棚割操作] - [フェイス調整] をクリックします。
2. フェイス調整の設定画面で [什器台数変更] を選択します。
3. 変更欄に台数を入力します。

台幅を変更する場合

1. [棚割操作] - [フェイス調整] をクリックします。
2. フェイス調整の設定画面で [什器幅変更] を選択します。
3. 変更欄に台幅のサイズを入力します。

条件を設定する

1. 什器の設定後に「売上情報を使用する」を有効にします。
2. 什器の設定後に設定画面内の [フェイス調整] を選択します。
3. 条件設定を行ない [実行] をクリックします。

商品分類の構成比を考慮する

商品分類単位でみた陳列構成比を売上構成比に近づけるようにして各商品のフェイス数を調整します。

| | |
|------|-----------------------------|
| 商品分類 | 商品を分類わけする時の基準となる分類項目を選択します。 |
| 構成比 | 陳列構成比の算出する際の陳列項目を選択します。 |

価格帯の構成比を考慮する

価格帯別にみた陳列構成比を売上構成比に近づけるようにして各商品のフェイス数を調整します。

| | |
|------|--|
| 価格項目 | 価格帯別に分類わけする時の基準となる価格項目を選択します。 |
| 構成比 | 陳列構成比の算出する際の陳列項目を選択します。 |
| 価格帯 | 価格帯の範囲設定を行ないます（簡易設定で初期値と価格ラインを設定しての一括登録も可能です）。 |

アイテムの構成比を考慮する

アイテム単位でみた陳列構成比を売上構成比に近づけるようにして各商品のフェイス数を調整します。

| | |
|-----|-------------------------|
| 構成比 | 陳列構成比の算出する際の陳列項目を選択します。 |
|-----|-------------------------|

売上情報優先順位

陳列構成比と売上構成比のギャップをみる際の優先順位を設定します。

| | |
|------|-----------------------|
| 売数構成 | 売上数量を使用して売上構成比を算出します。 |
| 売金構成 | 売上金額を使用して売上構成比を算出します。 |
| 粗利構成 | 粗利益を使用して売上構成比を算出します。 |

※売上情報を使用している時は陳列構成比と売上構成比のギャップよりフェイス変更アイテムを判断しています。

第1 優先項目のギャップが同じ商品が複数存在した場合には、第2優先項目のギャップをみてフェイス変更アイテムを判断します。

条件設定を保存する

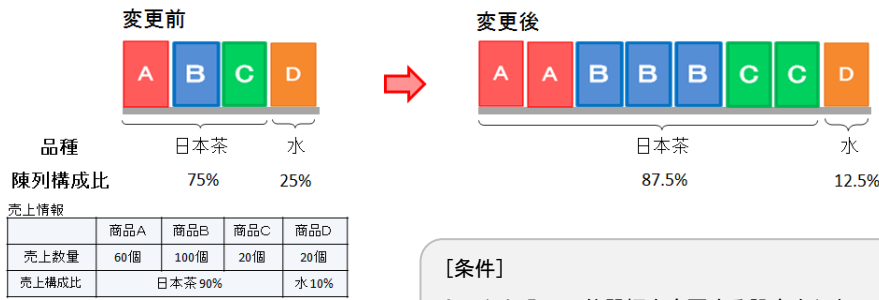
フェイス調整の条件設定をファイルに保存することが可能です。

1. 条件設定画面で [設定保存] を選択します。
2. ファイル名を入力して保存先を選択して実行します。

（保存したファイルは条件設定画面の [設定読込] から読み込みできます）

◆ 「商品分類の構成比を考慮する」で実行した場合

3尺から5尺に変更



[条件]

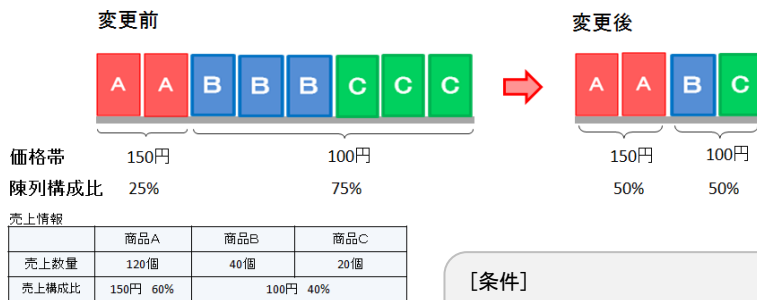
3尺から5尺に什器幅を変更する設定を行ない、商品分類は「品種」、構成比は「フェイス構成」。売上情報優先順位は「売上数量」を第一とした条件でフェイス調整を実行します。

[結果]

品種単位でみたときの売上構成比に陳列構成比を近づけるようにしてフェイス数が増えます。フェイス調整の実行後は品種ごとの陳列構成比と売上構成比のバランスが改善されます。

◆ 「価格帯の構成比を考慮する」で実行した場合

5尺から3尺に変更



[条件]

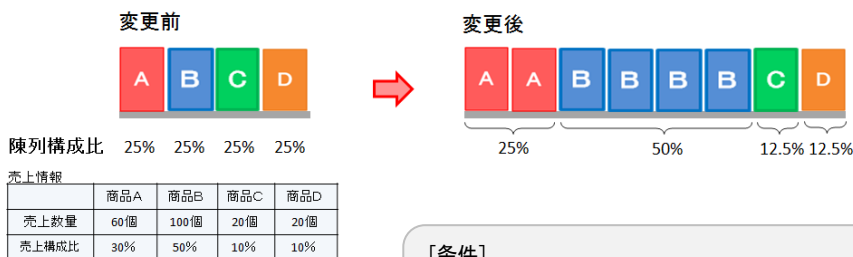
5尺から3尺に什器幅を変更する設定を行ない、価格項目は「売価」、構成比は「フェイス構成」。売上情報優先順位は「売上数量」を第一とした条件でフェイス調整を実行します。

[結果]

価格帯別にみたときの売上構成比に陳列構成比を近づけるようにしてフェイス数が増えます。フェイス調整の実行後は価格帯別の陳列構成比と売上構成比のバランスが改善されます。

◆ 「アイテムの構成比を考慮する」で実行した場合

3尺から5尺に変更



[条件]

3尺から5尺に什器幅を変更する設定を行ない、構成比は「フェイス構成」。売上情報優先順位は「売上数量」を第一とした条件でフェイス調整を実行します。

[結果]

アイテム単位でみたときの売上構成比に陳列構成比を近づけるようにしてフェイス数が増えます。フェイス調整の実行後は各アイテムの陳列構成比と売上構成比のバランスが改善されます。

■ 特記事項

- 手前挿入や別商品積上を行なっている商品はフェイス調整の対象外となることや、フェイス調整の実行後にはゾーニングの設定が解除される等の注意点があります。フェイス調整の注意事項は条件設定画面の〔説明〕より一覧表示させて確認することが可能です。(一覧表示を非表示にする場合は〔説明〕を再度クリックします)
- 台数を変更する場合と台幅を変更する場合は、条件設定画面の〔説明〕を選択した時に表示する内容が異なります。
- 条件設定で設定する構成比の項目の詳細は以下になります。

| | |
|----------------------|-------------------------------|
| フェイス構成 | 各アイテムのフェイス数で構成比を確認します |
| 陳列在庫数量 | 各アイテムの在庫数で構成比を確認します |
| 十 cm 構成 | 各アイテムの陳列幅で構成比を確認します |
| 百 cm ² 構成 | 各アイテムの陳列面積(幅×高さ)で構成比を確認します |
| 千 cm ³ 構成 | 各アイテムの陳列体積(幅×高さ×奥行)で構成比を確認します |